

平成 26 年 3 月 20 日

各 位

株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査(2014年1月～3月期)」の実施について

株式会社 みなと銀行(頭取 尾野俊二)は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査(2014年1月～3月期)を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	平成 26 年 2 月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,367 先、うち有効回答：883 先 (有効回答率 64.6%)
実施要領	原則、お客さまからの直接聞き取り
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断 D I 等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

本資料に関するお問い合わせ先
企画部 広報室 久保田 TEL:078-333-3247

兵庫県内中小企業の景況調査

(2014年1月～3月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 在庫判断	7
5. 資金繰り判断	8
6. 雇用判断	9
7. 新入社員の採用状況	10
8. 賃上げの予定について	11
9. 設備投資の予定について	12
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	13

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 法人業務部 (担当:北浦)
TEL 大代表(078)331-8141
直通 (078)333-3283

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2014年2月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,367社
- ◆有効回答数 883社(有効回答率64.6%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	326	36.9
阪神地域	68	7.7
播磨地域	343	38.8
但馬・丹波地域	63	7.1
淡路地域	83	9.4
無回答	0	0.0
合計	883	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 但馬・丹波地域・・・篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
製造業	273	30.9	
非製造業	建設業	135	15.3
	卸売業	160	18.1
	小売業	58	6.6
	不動産業	55	6.2
	運輸業	36	4.1
	飲食業	11	1.2
	医療・保健衛生	27	3.1
	サービス業	84	9.5
その他	36	4.1	
非製造業	602	68.2	
無回答	8	0.9	
合計	883	100.0	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	26	2.9
500万円超～1千万円以下	225	25.5
1千万円超～2千万円以下	201	22.8
2千万円超～3千万円以下	97	11.0
3千万円超～5千万円以下	168	19.0
5千万円超～1億円以下	112	12.7
1億円超	41	4.6
無回答	13	1.5
合計	883	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	58	6.6
	6～10名	106	12.0
	小計	164	18.6
中小企業	11～20名	166	18.8
	21～50名	241	27.3
	51～100名	144	16.3
	小計	551	62.4
中堅企業	101～200名	87	9.9
	201名以上	69	7.8
	小計	156	17.7
無回答	12	1.4	
合計	883	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

- ・景況判断は5 四半期連続で改善し、調査開始（3 年前）以来初めてプラスとなった。消費増税前の駆け込み需要が企業活動を押し上げ、収益状況も改善している。
- ・建設業、医療・保健衛生業は、恒常的に雇用の不足感があるが、今回は運輸業の不足感が大幅に高まった。他業種も人材獲得に前向きな姿勢になってきた。
- ・中小企業にも景気回復の恩恵が波及するなど景況感が良くなりつつあるが、原材料高、電気料金の値上げ、消費増税など不安材料も多く、今後の見通しは再び悪化すると予想する。

景況判断DIは14. 9ポイント改善の6. 2
先行きは9. 5ポイント悪化の▲3. 3を見込む

項 目	最近3ヵ月 〔2014 年 1 月～3 月〕	今後3ヵ月 〔2014 年 4 月～6 月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 6.2 と 5 期続けて改善。 ・製造業、非製造業とも売上高と経常利益が改善し、大幅に改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では▲3.3 と悪化予想。 ・製造業、非製造業とも駆け込み需要の反動減で悪化を予想。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 11.3 ポイント改善の 17.3。 ・製造業、非製造業とも販売数量の伸びを主因に大幅に改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 9.3 ポイントの悪化予想。 ・小売業、卸売業など駆け込み需要の反動減が大きい業種で大幅に悪化。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 9.2 ポイント改善の 8.1。 ・製造業、非製造業とも企業規模の大小によらず大幅に改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 5.9 ポイントの悪化予想。 ・製造業、非製造業とも駆け込み需要の反動減で悪化を予想。
在庫判断 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.2 と不足超に転換。 ・小規模非製造業で過剰感が少しある。 ・「適正」という企業が約 9 割と大半。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 0.6 と不足感が少し強まると予想。 ・今後とも「適正」とする企業が多い。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 2.0 と横ばい。 ・中堅企業が 3.9 ポイント悪化したことで、企業規模による格差が縮小した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 2.2 ポイント悪化の▲0.2。 ・中堅企業の悪化が続き、企業規模による格差がさらに縮小する見通し。
雇用判断 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 13.2 と不足感が拡大。 ・非製造業は 16.1 と不足感が強い。中でも運輸業は景気回復による物流の増加から 41.7 と大幅な不足超となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全産業では 11.3 と不足感が少し弱まると予想。 ・製造業は不足感の上昇、非製造業は不足感の低下を見込む。
新入社員の採用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「採用の予定なし」が 67.4%と約 7 割の企業が 4 年連続採用を見送っている。 ・「予定数を確保できた」企業は 24.3%だが、「何とか採用予定数が確保」したと回答した企業が急増し、新入社員の確保は厳しいようだ。 	
賃上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・「賃上げを考えている」が 21.9%、「賃上げを考えていない」が 51.2%。 ・賃上げ予定企業の内訳は、ベースアップが 51.3%、賞与対応が 28.0%である。比較的規模が大きく「景況感が良い」と回答した企業が対応を検討している。 	
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資を「行う予定がある」が 30.2%、「行う予定がない」が 68.9%。 ・予定企業の理由（複数回答）は、「設備の老朽化」57.7%、「景気の好転」10.5%、「設備投資減税の活用」10.1%であった。その他、太陽光発電の導入や営業拠点の拡充をあげる企業も多かった。 	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2014年1月～3月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、14.9ポイント改善の6.2と、5四半期続けて改善し、3年前の調査開始以来、初めてプラスとなった。

業種別・・・『製造業』が16.0ポイント改善、『非製造業』は14.6ポイント改善し、ともにプラスに転じた。

規模別・・・『小規模企業』(同10名以下)、『中小企業』(同11～100名)、『中堅企業』(従業員数101名以上)、いずれも大幅に改善した。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』を除き大幅に改善。『淡路地域』のみ▲13.3とマイナス判断に止まっており、他の地域と比べて改善が遅れている。

業種別・・・消費増税前の駆け込み需要が業績をけん引し、全業種で改善した。『飲食業』が43.2ポイントと大幅に改善したほか、『サービス業』が25.6ポイント、『小売業』が14.8ポイント改善した。

※『飲食業』は回答企業数が少ないため、判断DIのブレ幅が大きくなっている。以下、同様に注意を要する。

(2) 今後3ヵ月 [2014年4月～6月]

全産業・・・今後の見通しは、消費増税後の影響を懸念して、9.5ポイントの悪化の▲3.3を予想する。

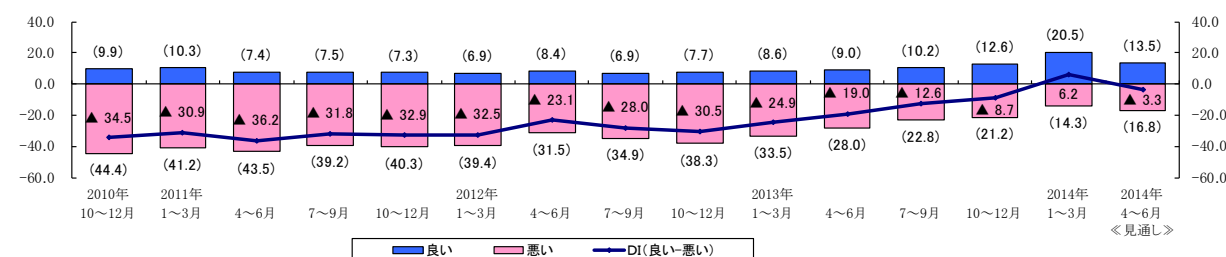
業種別・・・『製造業』が7.0ポイント悪化の▲4.1、『非製造業』が10.9ポイント悪化の▲3.2と、いずれも悪化予想となっている。個別には『卸売業』と『小売業』の悪化幅が大きくなっており、増税が業績に与える影響が大きいと予想している。

規模別・・・企業規模の大小によらず、『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも悪化予想となっている。

項目	「良い」-「悪い」				
	2013年 4～6月	2013年 7～9月	2013年 10～12月	2014年 1～3月	2014年 4～6月 《見通し》
全産業	▲19.0	▲12.6	▲8.7	6.2	▲3.3
小規模企業	▲29.1	▲18.6	▲14.2	▲3.0	▲12.9
中小企業	▲17.3	▲12.9	▲7.8	7.5	▲2.0
中堅企業	▲15.1	▲6.3	▲6.4	12.8	1.9
製造業	▲24.0	▲17.4	▲13.1	2.9	▲4.1
小規模企業	▲32.3	▲20.0	▲14.7	3.1	▲6.3
中小企業	▲24.4	▲20.7	▲15.5	▲1.6	▲6.6
中堅企業	▲18.5	▲4.0	0.0	18.2	5.6
非製造業	▲16.3	▲10.4	▲6.9	7.7	▲3.2
小規模企業	▲28.6	▲18.5	▲14.2	▲4.6	▲14.6
中小企業	▲13.1	▲8.9	▲4.1	11.9	0.0
中堅企業	▲13.0	▲7.3	▲10.7	9.9	0.0

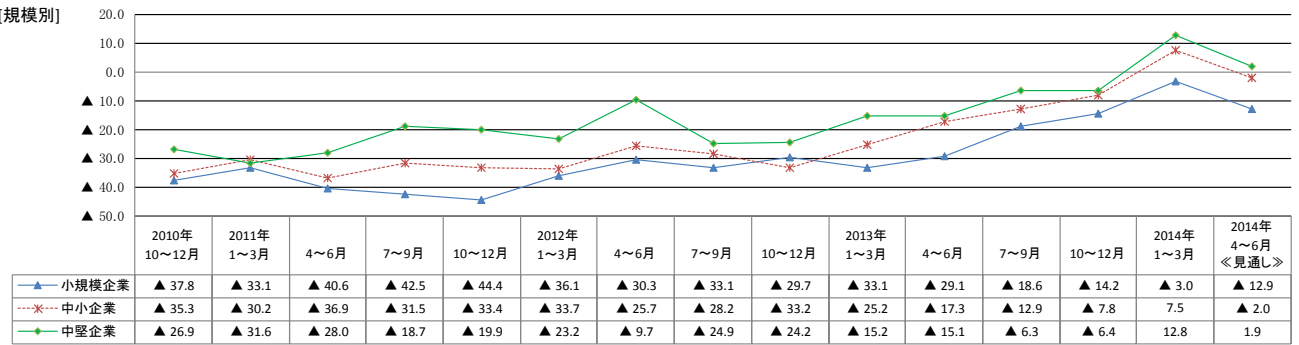
項目	「良い」-「悪い」					
	2013年 4～6月	2013年 7～9月	2013年 10～12月	2014年 1～3月	2014年 4～6月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲21.0	▲10.0	▲13.5	10.8	▲0.6
	阪神地域	▲8.3	7.0	5.6	4.4	3.0
	播磨地域	▲15.3	▲13.0	▲3.3	7.6	▲1.5
	但馬・丹波地域	▲30.2	▲19.3	▲9.8	3.2	▲9.5
	淡路地域	▲32.8	▲34.3	▲22.1	▲13.3	▲21.7
	製造業	▲24.0	▲17.4	▲13.1	2.9	▲4.1
業種別	建設業	▲13.0	▲5.5	3.5	13.3	7.4
	卸売業	▲24.4	▲15.2	▲6.4	5.0	▲16.5
	小売業	▲26.7	▲22.0	▲18.2	▲3.4	▲25.9
	不動産業	8.3	13.2	1.7	16.4	7.4
	運輸業	▲20.5	▲2.7	▲8.9	13.9	8.3
	飲食業	14.3	▲33.3	▲25.0	18.2	20.0
	医療・保健衛生	▲13.3	▲8.7	▲12.5	▲11.1	▲3.7
	サービス業	▲18.3	▲11.8	▲20.8	4.8	2.4
	その他	▲15.4	▲17.4	▲5.7	14.3	5.7

景況判断の推移【全産業】

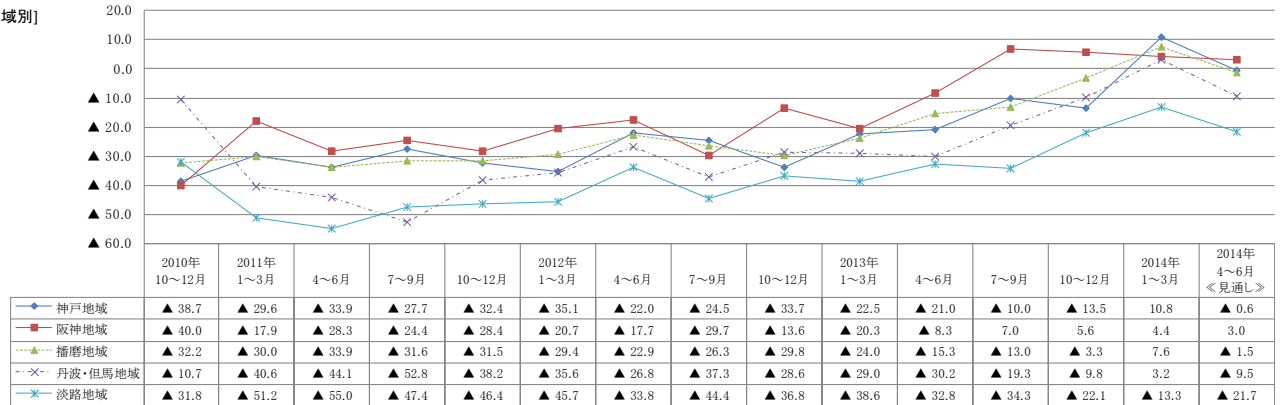


景況判断の推移明細

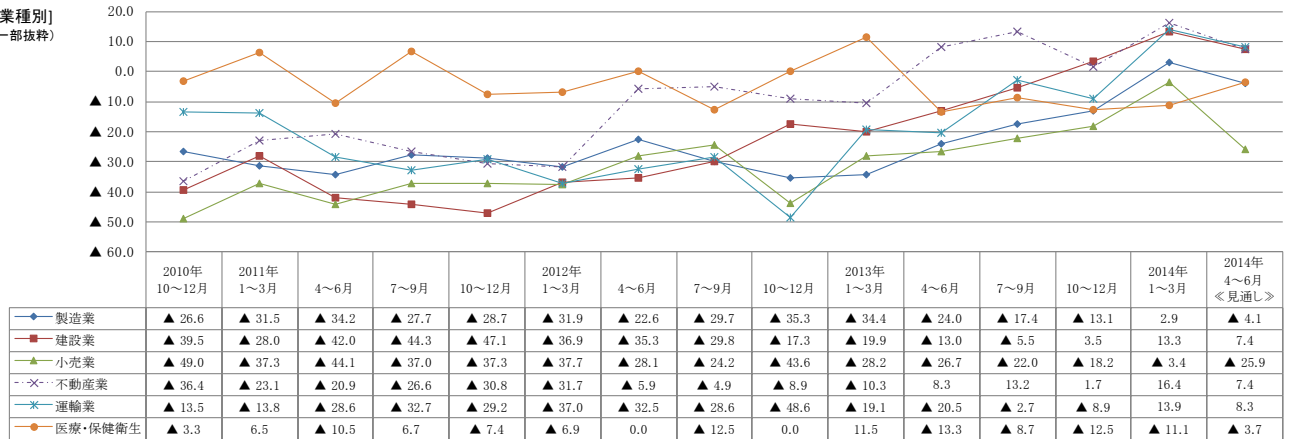
[規模別]



[地域別]



[業種別]
(一部抜粋)



2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2014年1月~3月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、増税前の駆け込み需要で、販売数量DI(「増加」-「減少」)が大幅に改善(10.9ポイント)したのに加え、販売単価DI(「上昇」-「下落」)も改善したのを受け、11.3ポイント改善の17.3と、3四半期続けてプラス判断となった。

業種別・・・『製造業』が14.7ポイント改善の15.1、『非製造業』9.8ポイント改善の18.1といずれも改善した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『阪神地域』、『播磨地域』で大幅に改善し20.0前後のプラス判断になっているのに対し、『但馬・丹波地域』と『淡路地域』はマイナス判断に止まっている。

業種別・・・『運輸業』は物流の増加を背景に38.3ポイント改善の36.1と好調である。

(2) 今後3ヵ月 [2014年4月~6月]

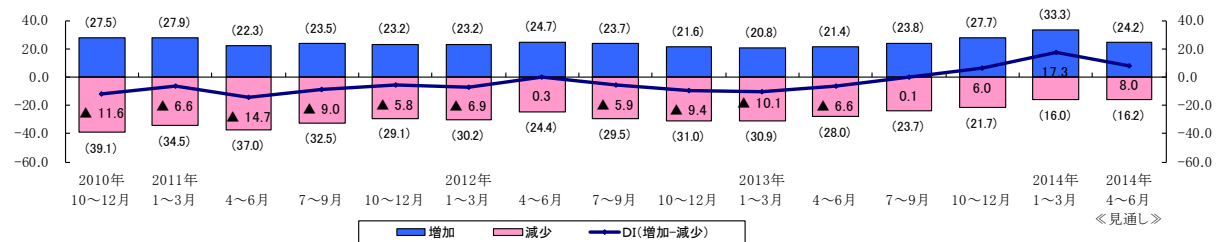
全産業・・・駆け込み需要の反動減と増税により販売数量が落ち込むと懸念しており、9.3ポイント悪化の8.0を見込む。

業種別・・・『製造業』が6.2ポイント悪化の8.9、『非製造業』も10.9ポイント悪化の7.2と、いずれも悪化すると予想している。

項目	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月	2014年 4~6月 《見通し》
全産業	▲6.6	0.1	6.0	17.3	8.0
販売数量	▲6.5	▲3.6	6.0	16.9	6.9
小規模企業	▲14.5	▲11.7	1.4	8.4	▲0.6
中小企業	▲5.4	▲4.2	8.4	18.0	6.8
中堅企業	▲1.4	5.2	2.0	20.4	12.0
販売単価	▲8.7	▲4.0	▲1.7	4.1	3.9
小規模企業	▲13.8	▲2.0	▲6.3	2.6	▲1.9
中小企業	▲9.5	▲5.8	▲1.2	3.9	5.1
中堅企業	▲1.4	▲0.6	0.0	5.3	4.7
製造業	▲16.1	▲11.0	0.4	15.1	8.9
販売数量	▲13.3	▲15.9	3.2	15.9	7.8
販売単価	▲12.3	▲4.7	▲5.7	2.6	2.2
非製造業	▲1.4	4.7	8.3	18.1	7.2
販売数量	▲2.4	1.9	7.0	17.3	6.0
販売単価	▲7.1	▲3.8	▲0.2	4.5	4.0

項目	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月	2014年 4~6月 《見通し》
地域別					
神戸地域	▲1.5	4.4	5.3	23.0	13.2
阪神地域	2.4	21.4	5.6	20.6	15.2
播磨地域	▲12.1	▲1.3	9.9	19.4	8.8
但馬・丹波地域	▲9.5	▲12.3	3.3	▲1.6	▲7.9
淡路地域	▲12.5	▲21.4	▲6.7	▲2.4	▲9.6
業種別					
製造業	▲16.1	▲11.0	0.4	15.1	8.9
建設業	1.1	15.0	20.6	27.4	19.4
卸売業	▲4.9	0.0	12.0	18.9	▲1.9
小売業	▲13.3	▲1.7	▲3.7	3.4	▲15.5
不動産業	16.7	19.2	6.8	21.8	14.8
運輸業	▲10.3	13.5	▲2.2	36.1	22.2
飲食業	35.7	0.0	0.0	36.4	40.0
医療・保健衛生	13.3	4.3	0.0	7.4	7.4
サービス業	▲8.6	▲2.1	▲2.6	2.4	6.0
その他	5.1	▲6.3	9.6	19.4	5.6

売上高判断の推移【全産業】



3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2014年1月~3月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、9.2ポイント改善の8.1と、4四半期続けて改善しプラスに転じた。

業種別・・・『製造業』が9.4ポイント改善の4.4、『非製造業』が9.2ポイント改善の9.7といずれも改善した。

規模別・・・『中小企業』は非製造業を中心に増益先が増えており、11.0ポイント改善の10.7と、『小規模企業』や『中堅企業』に比べて好調な企業が多い。

【参考】

地域別・・・全地域で改善したものの、『淡路地域』のみ▲8.4とマイナス判断に止まっており、他の値域に比べて改善が遅れている。

業種別・・・『建設業』が14.8と引き続き堅調であるほか、『飲食業』が44.0ポイント改善し、プラスに転じた。

(2) 今後3ヵ月 [2014年4月~6月]

全産業・・・消費増税後の影響を懸念して、5.9ポイント悪化の2.2を見込む。

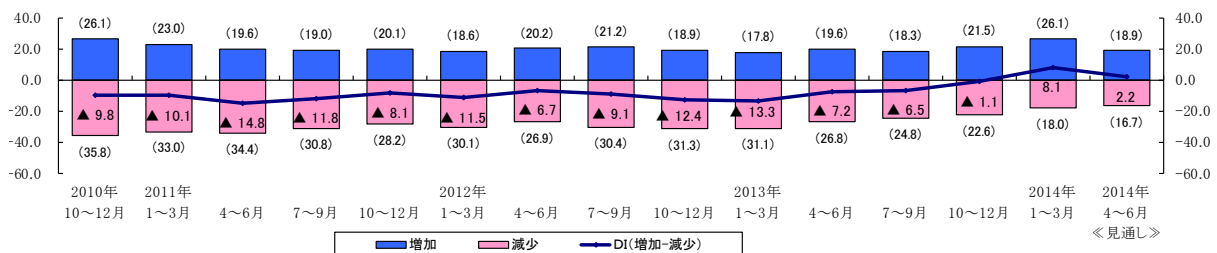
業種別・・・『製造業』が2.9ポイント悪化の1.5、『非製造業』が7.7ポイント悪化の2.0といずれも悪化を予想する。

規模別・・・規模の大小によらず、『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも悪化を見込む。

項目	前年同期比			「増加」-「減少」	
	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月	2014年 4~6月 《見通し》
全産業	▲7.2	▲6.5	▲1.1	8.1	2.2
小規模企業	▲15.9	▲12.4	▲4.1	0.0	▲9.3
中小企業	▲6.7	▲8.0	▲0.3	10.7	4.7
中堅企業	0.7	3.7	▲1.3	6.4	3.3
製造業	▲11.9	▲16.0	▲5.0	4.4	1.5
小規模企業	▲13.3	▲10.0	▲8.8	▲3.1	▲6.5
中小企業	▲11.1	▲21.1	▲5.7	3.3	1.1
中堅企業	▲14.5	0.0	3.8	9.1	3.8
非製造業	▲4.5	▲2.4	0.5	9.7	2.0
小規模企業	▲16.5	▲13.1	▲2.7	0.8	▲10.0
中小企業	▲4.1	▲1.3	2.6	14.1	6.1
中堅企業	9.7	5.4	▲4.9	5.0	3.0

項目	「増加」-「減少」					
	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月	2014年 4~6月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲6.8	▲1.7	▲1.2	13.5	9.5
	阪神地域	7.1	15.8	▲1.9	14.7	9.4
	播磨地域	▲8.3	▲9.8	1.9	6.1	▲1.5
	但馬・丹波地域	▲11.3	▲17.5	▲5.0	4.8	▲4.8
	淡路地域	▲21.0	▲21.4	▲11.7	▲8.4	▲12.3
業種別	製造業	▲11.9	▲16.0	▲5.0	4.4	1.5
	建設業	▲7.6	7.1	9.9	14.8	11.9
	卸売業	▲10.4	▲9.1	0.0	9.4	▲5.0
	小売業	▲6.6	▲15.3	▲10.9	3.4	▲19.0
	不動産業	15.0	26.4	16.9	18.2	11.1
	運輸業	▲12.8	2.7	▲4.5	5.6	0.0
	飲食業	28.6	▲8.3	▲16.7	27.3	10.0
	医療・保健衛生	0.0	▲13.0	▲12.5	▲14.8	▲3.7
	サービス業	▲2.2	▲4.3	▲14.3	4.8	7.1
	その他	▲10.5	▲14.6	5.7	16.7	8.6

経常利益判断の推移【全産業】



4. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2014年1月～3月]

全産業・・・最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、企業の在庫調整が進み、過剰超の▲2.0から不足超の0.2となった。内訳を見ると、約9割の企業は「適正」と判断している(「不足」5.0%、「適正」90.3%、「過剰」4.7%)。

業種別・・・『製造業』が▲1.5、『非製造業』が1.1となっており、『製造業』で在庫に過剰感のある企業が多い。

規模別・・・『小規模企業』は非製造業において「不足」と判断する企業が増えており、5.1と不足感が3.7ポイント高まった。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』が6.3と、他の地域と比べて在庫の不足感が高まっている。

業種別・・・『建設業』が5.6、『不動産業』が5.9となっており、在庫に不足感がある。

(2) 今後3ヵ月 [2014年4月～6月]

全産業・・・今後の見通しは、0.6と不足感が0.4ポイント強まるとの予想である。

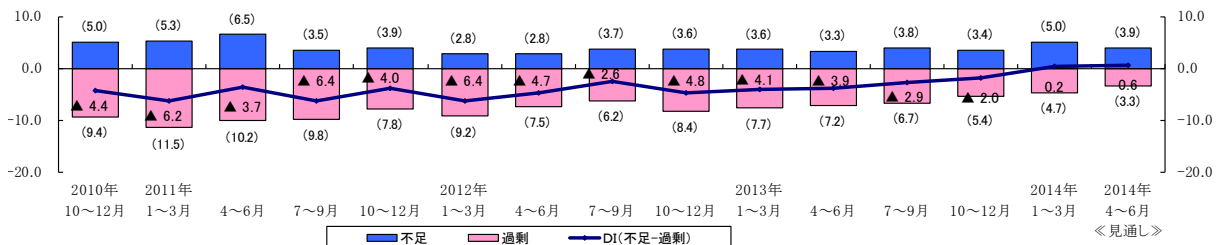
業種別・・・『製造業』は1.1と過剰超から不足超への転換を見込む。

規模別・・・『中堅企業』が0.7と過剰超から不足超への転換を見込む。

項目	2013年 4～6月	2013年 7～9月	2013年 10～12月	2014年 1～3月	2014年 4～6月 《見通し》
全産業	▲3.9	▲2.9	▲2.0	0.2	0.6
小規模企業	▲1.3	▲0.6	1.4	5.1	3.9
中小企業	▲4.3	▲4.0	▲2.8	▲0.9	▲0.4
中堅企業	▲5.8	▲1.3	▲0.7	▲0.7	0.7
製造業	▲9.2	▲7.1	▲5.3	▲1.5	1.1
小規模企業	▲3.2	▲6.7	0.0	0.0	6.5
中小企業	▲9.1	▲8.6	▲5.7	▲1.6	0.5
中堅企業	▲13.0	▲2.0	▲7.7	▲1.8	0.0
非製造業	▲1.3	▲0.7	▲0.3	1.1	0.4
小規模企業	▲0.8	0.8	1.9	6.5	3.3
中小企業	▲1.2	▲1.2	▲1.3	▲0.6	▲0.9
中堅企業	▲1.2	▲1.0	2.1	0.0	1.1

項目	2013年 4～6月	2013年 7～9月	2013年 10～12月	2014年 1～3月	2014年 4～6月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲3.5	▲0.9	▲1.8	0.0	0.0
	阪神地域	3.8	▲3.8	4.3	▲3.0	1.6
	播磨地域	▲5.8	▲5.2	▲1.7	0.0	0.6
	但馬・丹波地域	▲4.8	3.5	▲11.7	▲1.7	0.0
	淡路地域	▲6.6	▲3.0	0.0	6.3	2.5
業種別	製造業	▲9.2	▲7.1	▲5.3	▲1.5	1.1
	建設業	2.3	0.9	0.8	5.6	2.4
	卸売業	▲7.3	▲3.0	▲8.5	▲2.5	▲1.9
	小売業	▲9.8	▲5.2	1.8	▲1.7	▲1.8
	不動産業	16.7	8.3	11.1	5.9	2.0

在庫判断の推移【全産業】



5. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2014年1月~3月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は2.0と横ばいであった。全体の約9割の企業が「楽である」もしくは「普通」と判断している(「楽である」10.1%、「普通」81.8%、「苦しい」8.1%)。

業種別・・・『製造業』が少し(0.3ポイント)改善して▲1.5、『非製造業』は3.7とほぼ横ばいであった。

規模別・・・『小規模製造業』で判断を「苦しい」から「普通」に変わる企業が増え、8.4ポイント改善した。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は▲20.6となっており、他の地域に比べて資金繰りが苦しい企業が多い状況が続いている。

業種別・・・『医療・保健衛生』で資金繰りが「楽である」企業が増え、11.1ポイント改善の11.1となる一方で、『運輸業』は「苦しい」が増え、5.0ポイント悪化の▲13.9となるなど、業種により判断が異なる。

(2) 今後3ヵ月 [2014年4月~6月]

全産業・・・今後の見通しは、2.2ポイント悪化の▲0.2と、マイナス転換を予想する。

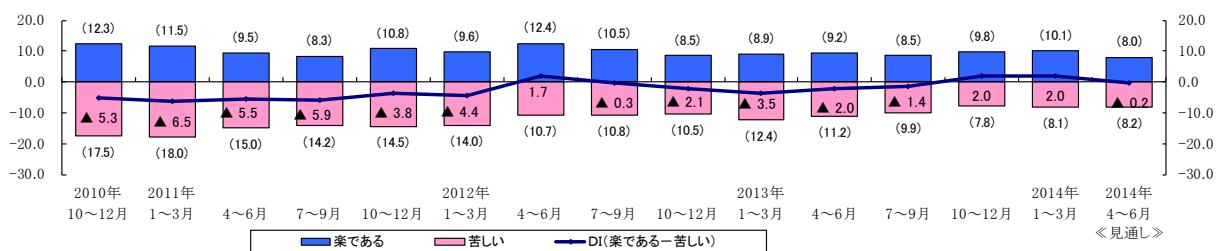
業種別・・・『製造業』が0.4ポイント悪化の▲1.9、『非製造業』が3.2ポイント悪化の0.5を見込む。

規模別・・・『小規模企業』がほぼ横ばいの▲8.1を予想する中、『中堅企業』が2.5ポイント悪化の1.3を予想しており、規模による格差が少し縮小する見通しである。

項目	「楽である」-「苦しい」				
	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月	2014年 4~6月 《見通し》
全産業	▲2.0	▲1.4	2.0	2.0	▲0.2
小規模企業	▲11.5	▲9.3	▲8.8	▲8.0	▲8.1
中小企業	▲2.5	▲1.6	3.6	4.4	1.5
中堅企業	10.1	5.6	7.7	3.8	1.3
製造業	▲3.4	▲2.1	▲1.8	▲1.5	▲1.9
小規模企業	▲12.9	▲10.0	▲14.7	▲6.3	▲3.2
中小企業	▲5.7	▲4.0	▲1.0	▲3.3	▲3.8
中堅企業	10.9	6.0	5.8	7.3	5.7
非製造業	▲1.4	▲1.0	3.8	3.7	0.5
小規模企業	▲11.3	▲9.2	▲7.1	▲8.5	▲9.3
中小企業	▲0.9	▲0.3	5.9	8.3	4.1
中堅企業	9.7	5.4	8.7	2.0	▲1.0

項目	「楽である」-「苦しい」					
	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月	2014年 4~6月 《見通し》	
地域別	神戸地域	0.0	0.0	2.9	4.9	1.2
	阪神地域	1.2	12.3	▲5.6	12.1	12.3
	播磨地域	1.8	▲0.5	6.8	2.6	1.2
	但馬・丹波地域	▲27.0	▲23.2	▲23.0	▲20.6	▲20.6
	淡路地域	▲9.4	▲7.1	0.0	▲2.4	▲6.2
	製造業	▲3.4	▲2.1	▲1.8	▲1.5	▲1.9
業種別	建設業	0.0	▲3.1	3.5	5.2	2.2
	卸売業	0.0	▲2.4	7.7	2.5	0.0
	小売業	▲4.9	▲1.7	1.8	▲3.4	▲8.9
	不動産業	8.3	17.0	6.9	5.6	3.7
	運輸業	▲15.4	▲5.4	▲8.9	▲13.9	▲16.7
	飲食業	▲7.1	▲16.7	▲16.7	0.0	▲10.0
	医療・保健衛生	▲6.7	▲8.7	0.0	11.1	7.4
	サービス業	0.0	2.2	7.8	11.9	9.5
	その他	▲5.1	▲4.2	3.8	5.6	0.0

資金繰り判断の推移【全産業】



6. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2014年1月～3月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は13.2となり、不足感が3.0ポイント強まった。内訳を見ると、8割強の企業が「適正」と判断している(「不足」16.0%、「適正」81.2%、「過剰」2.8%)。

業種別・・・『製造業』は5.9、『非製造業』は16.1と、いずれも不足超となっており、『非製造業』で不足感が強い状況が続いている。

規模別・・・『小規模企業』は不足感の低下、『中小企業』と『中堅企業』は不足感の上昇を見込む。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』で「不足」という企業が増えており、15.7と不足感が11.8ポイント上昇した。

業種別・・・『建設業』が29.6と恒常的に不足感が強いほか、『運輸業』は物流の増加から、不足感が大幅に(26.1ポイント)強まり41.7となっている。

(2) 今後3ヵ月 [2014年4月～6月]

全産業・・・今後の見通しは、不足感が1.9ポイント低下の11.3を見込んでいる。

業種別・・・『製造業』は6.3と不足感が0.4ポイント上昇、『非製造業』は13.5と不足感が2.6ポイント低下すると予想している。

規模別・・・規模の大小によらず、『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも不足感の低下を見込む。

「不足」-「過剰」

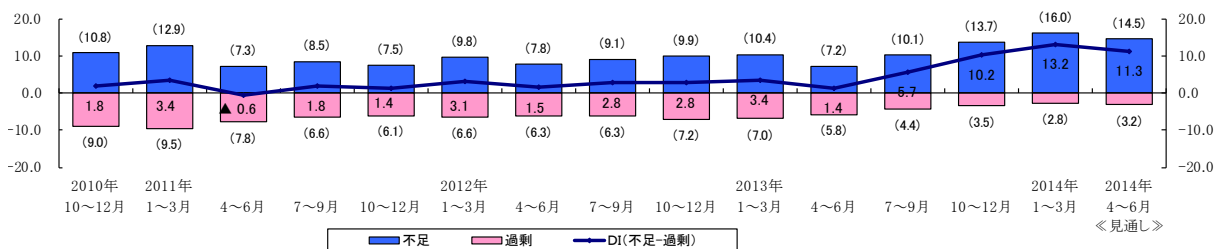
項目	2013年 4～6月	2013年 7～9月	2013年 10～12月	2014年 1～3月	2014年 4～6月 《見通し》
全産業	1.4	5.7	10.2	13.2	11.3
小規模企業	6.7	11.3	14.4	11.6	8.1
中小企業	▲0.5	3.5	9.4	13.3	12.4
中堅企業	2.7	7.5	9.6	14.1	11.1
製造業	▲5.7	▲3.9	2.1	5.9	6.3
小規模企業	12.9	6.7	2.9	6.3	6.5
中小企業	▲6.7	▲6.5	3.1	4.9	5.5
中堅企業	▲12.7	0.0	▲1.9	9.1	9.4
非製造業	5.0	10.2	14.0	16.1	13.5
小規模企業	5.3	12.4	18.0	13.0	8.5
中小企業	3.2	8.9	12.6	17.4	16.0
中堅企業	11.8	10.8	14.6	16.8	12.0

「不足」-「過剰」

【参考】

項目	2013年 4～6月	2013年 7～9月	2013年 10～12月	2014年 1～3月	2014年 4～6月 《見通し》	
地域別	神戸地域	5.5	8.2	11.2	12.6	12.0
	阪神地域	6.0	14.0	13.2	9.0	7.7
	播磨地域	▲0.9	2.9	10.1	14.6	12.7
	但馬・丹波地域	▲7.9	▲1.8	13.1	9.5	6.3
	淡路地域	▲3.1	8.6	3.9	15.7	9.8
業種別	製造業	▲5.7	▲3.9	2.1	5.9	6.3
	建設業	10.9	16.5	24.1	29.6	23.0
	卸売業	2.4	7.3	5.6	4.4	3.1
	小売業	1.6	1.7	7.3	17.2	14.3
	不動産業	3.4	5.8	10.5	3.6	0.0
	運輸業	0.0	18.9	15.6	41.7	33.3
	飲食業	7.1	25.0	8.3	9.1	10.0
	医療・保健衛生	13.3	26.1	20.8	14.8	18.5
	サービス業	9.7	5.3	13.0	13.1	14.3
	その他	0.0	10.4	18.9	19.4	19.4

雇用判断の推移【全産業】



7. 新入社員の採用状況

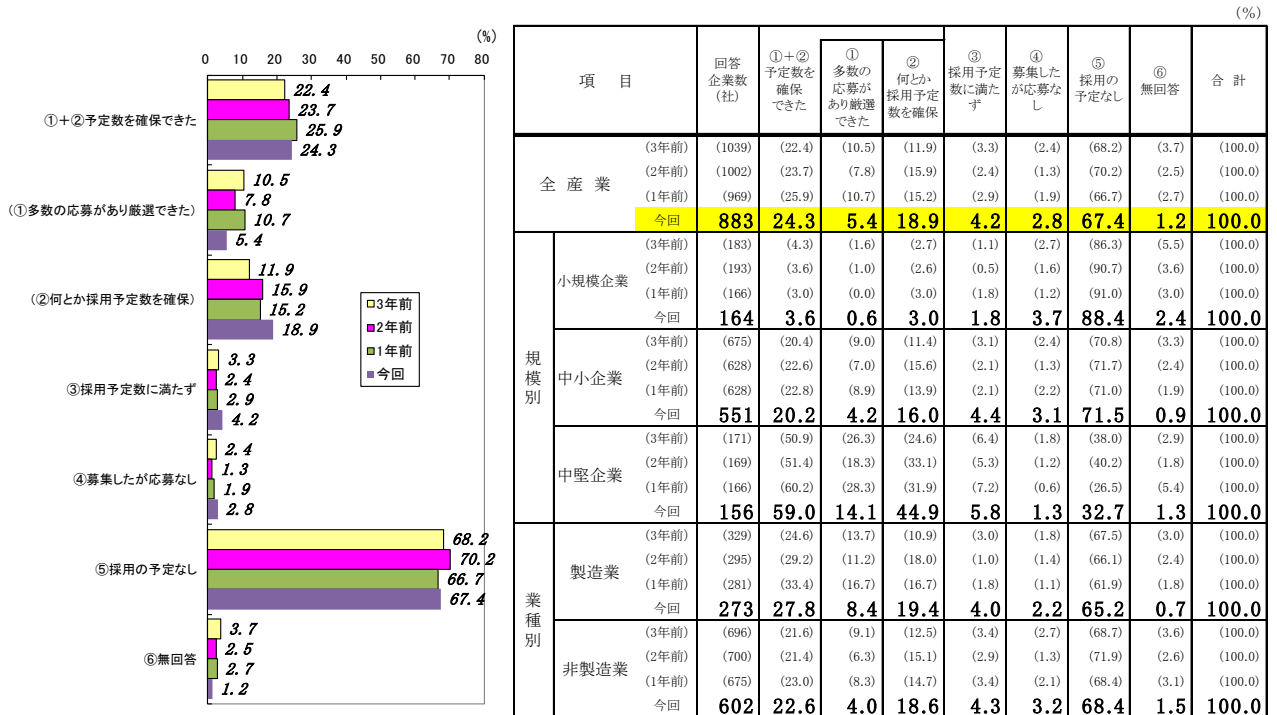
(1) 新入社員の採用状況

- ・2014年入社の新入社員の採用状況を尋ねたところ、「採用の予定なし」が67.4%と、約7割の企業が4年連続採用を見送る状況が続いている。
- ・一方、「予定数を確保できた」企業は24.3%と約2割あるが、「何とか採用予定数を確保」したと回答した企業が増加し、新入社員の確保は厳しいようだ。
- ・規模別には、「採用の予定なし」という企業は、『小規模企業』が88.4%、『中小企業』が71.5%、『中堅企業』32.7%となっており、規模の小さい企業ほど「採用の予定なし」とするところが多い。
- ・業種別には、「予定数を確保できた」企業は、『製造業』が27.8%、『非製造業』が22.6%となっており、『製造業』の方が少し多い。

(2) 採用にあたって苦労したこと

採用活動にあたって苦労したことを任意に記入してもらったところ、以下の意見が寄せられた。

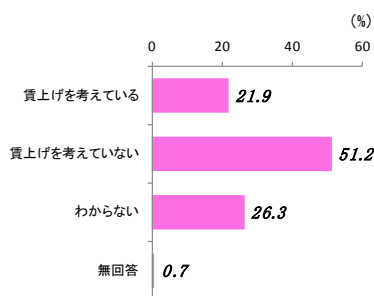
- ・「応募が少ない」、「男性の応募がなかった」など、応募者自体が少ないという意見。
- ・「内定を辞退された」、「長続きしない」など、自社への定着を図ることが難しいという意見。
- ・「現地採用が難しい」、「久しぶりの採用なので事務手続きが不安」など、採用ノウハウに関する意見。



8. 賃上げの予定について

(1) 賃上げの予定

- ・賃上げの予定を尋ねたところ、「賃上げを考えている」が21.9%、「賃上げを考えていない」が51.2%、「わからない」が26.3%であった。
- ・規模別に賃上げ予定企業をみると、『小規模企業』が18.9%、『中小企業』が22.3%、『中堅企業』が22.4%となっており、『小規模企業』がやや少ない。
- ・業種別に賃上げ予定企業をみると、『製造業』が23.4%、『非製造業』が20.8%となっており、『製造業』の方が少し多い。
- ・景況判断別に賃上げ予定企業をみると、『良い』が38.1%、『普通』が17.9%、『悪い』が15.9%となっており、景況が良い企業ほど賃上げに前向きである。

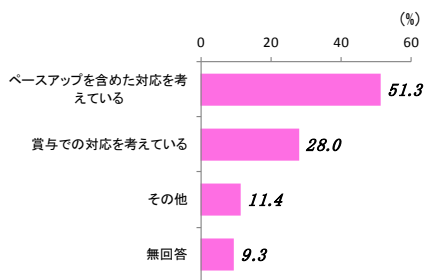


項目		回答企業数(社)	賃上げを考えている	賃上げを考えていない	わからない	無回答	合計
全産業		883	21.9	51.2	26.3	0.7	100.0
規模別	小規模企業	164	18.9	54.3	25.0	1.8	100.0
	中小企業	551	22.3	53.4	24.0	0.4	100.0
	中堅企業	156	22.4	41.7	35.3	0.6	100.0
業種別	製造業	273	23.4	48.4	27.8	0.4	100.0
	非製造業	602	20.8	52.8	25.6	0.8	100.0
景況判断別	良い	181	38.1	41.4	20.4	0.0	100.0
	普通	574	17.9	52.6	28.4	1.0	100.0
	悪い	126	15.9	58.7	25.4	0.0	100.0

※景況判断は、最近3ヵ月(2014年1月～3月)の景況感。

(2) 賃上げの内容

- ・「賃上げを考えている」と回答した企業(193社)にその内容を尋ねたところ、「ベースアップを含めた対応を考えている」が51.3%、「賞与での対応を考えている」が28.0%、「その他」が11.4%であった。「その他」として、「ベースアップと賞与の両方で対応」、「定時昇給で対応」などの記載があった。

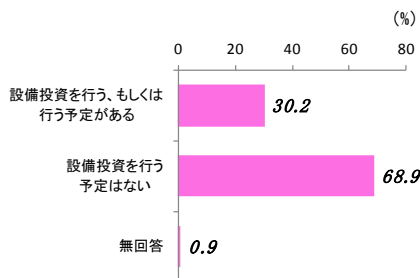


項目		回答企業数(社)	ベースアップを含めた対応を考えている	賞与での対応を考えている	その他	無回答	合計
全産業		193	51.3	28.0	11.4	9.3	100.0
規模別	小規模企業	31	61.3	22.6	6.5	9.7	100.0
	中小企業	123	52.0	30.1	7.3	10.6	100.0
	中堅企業	35	42.9	22.9	28.6	5.7	100.0
業種別	製造業	64	45.3	35.9	9.4	9.4	100.0
	非製造業	125	54.4	24.0	12.0	9.6	100.0

9. 設備投資の予定について

(1) 設備投資の予定

- 2014年中の設備投資の予定を尋ねたところ、「設備投資を行う、もしくは行う予定がある」は30.2%、「設備投資を行う予定はない」が68.9%であった。
- 規模別に設備投資の予定企業をみると、『小規模企業』が19.5%、『中小企業』が28.3%、『中堅企業』が47.4%となっており、企業規模が大きいほど予定先が多い。
- 業種別に設備投資の予定企業をみると、『製造業』が34.1%、『非製造業』が28.6%となっており、『製造業』で予定先が多い。
- 景況判断別に設備投資の予定企業をみると、『良い』が40.9%、『普通』が27.9%、『悪い』が26.2%となっており、景況が良い企業ほど設備投資に前向きである。

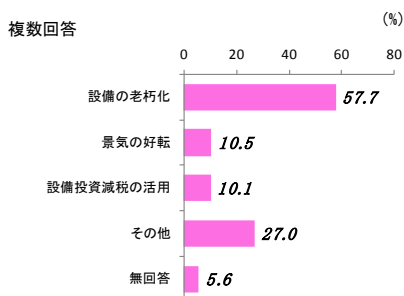


項目		回答企業数(社)	設備投資を行う、もしくは行う予定がある (%)	設備投資を行う予定はない (%)	無回答 (%)	合計 (%)
全産業		883	30.2	68.9	0.9	100.0
規模別	小規模企業	164	19.5	78.0	2.4	100.0
	中小企業	551	28.3	71.1	0.5	100.0
	中堅企業	156	47.4	51.9	0.6	100.0
業種別	製造業	273	34.1	64.5	1.5	100.0
	非製造業	602	28.6	70.8	0.7	100.0
景況判断別	良い	181	40.9	58.6	0.6	100.0
	普通	574	27.9	70.9	1.2	100.0
	悪い	126	26.2	73.8	0.0	100.0

※景況判断は、最近3ヵ月(2014年1月～3月)の景況感。

(2) 設備投資の理由

- 「設備投資を行う、もしくは行う予定がある」と回答した企業(267社)にその理由を尋ねたところ(複数回答)、「設備の老朽化」が57.7%、「景気の好転」が10.5%、「設備投資減税の活用」が10.1%であった。
- また「その他」が27.0%あり、太陽光発電の導入、営業拠点の拡充をあげる企業が多かった。



項目		回答企業数(社)	設備の老朽化 (%)	景気の好転 (%)	設備投資減税の活用 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全産業		267	57.7	10.5	10.1	27.0	5.6
規模別	小規模企業	32	50.0	15.6	6.3	34.4	6.3
	中小企業	156	56.4	10.9	9.6	28.2	5.8
	中堅企業	74	62.2	8.1	13.5	23.0	4.1
業種別	製造業	93	65.6	11.8	19.4	10.8	4.3
	非製造業	172	53.5	9.9	5.2	36.0	5.8

IV.【参考】景況判断内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2013年 4～6月				2013年 7～9月				2013年 10～12月				2014年 1～3月				2014年 4～6月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	9.0	63.0	28.0	▲19.0	10.2	67.1	22.8	▲12.6	12.6	66.2	21.2	▲8.7	20.5	65.2	14.3	6.2	13.5	69.7	16.8	▲3.3
小規模企業	5.5	60.0	34.5	▲29.1	11.2	59.0	29.8	▲18.6	12.2	61.5	26.4	▲14.2	15.2	66.5	18.3	▲3.0	7.4	72.4	20.2	▲12.9
中小企業	10.3	62.2	27.6	▲17.3	10.1	66.8	23.0	▲12.9	13.1	65.9	21.0	▲7.8	22.0	63.4	14.6	7.5	14.8	68.4	16.8	▲2.0
中堅企業	7.5	69.9	22.6	▲15.1	9.4	75.0	15.6	▲6.3	10.3	73.1	16.7	▲6.4	21.8	69.2	9.0	12.8	15.6	70.8	13.6	1.9
製造業	8.1	59.8	32.1	▲24.0	10.0	62.6	27.4	▲17.4	11.0	65.0	24.0	▲13.1	17.9	67.0	15.0	2.9	12.2	71.6	16.2	▲4.1
小規模企業	3.2	61.3	35.5	▲32.3	13.3	53.3	33.3	▲20.0	14.7	55.9	29.4	▲14.7	21.9	59.4	18.8	3.1	9.4	75.0	15.6	▲6.3
中小企業	8.1	59.3	32.5	▲24.4	8.6	62.1	29.3	▲20.7	10.3	63.9	25.8	▲15.5	15.2	67.9	16.8	▲1.6	10.4	72.7	16.9	▲6.6
中堅企業	9.3	63.0	27.8	▲18.5	14.0	68.0	18.0	▲4.0	11.5	76.9	11.5	0.0	25.5	67.3	7.3	18.2	20.4	64.8	14.8	5.6
非製造業	9.5	64.6	25.9	▲16.3	10.3	69.1	20.7	▲10.4	13.2	66.7	20.1	▲6.9	21.8	64.0	14.2	7.7	14.1	68.7	17.3	▲3.2
小規模企業	6.0	59.4	34.6	▲28.6	10.8	60.0	29.2	▲18.5	11.5	62.8	25.7	▲14.2	13.7	67.9	18.3	▲4.6	6.9	71.5	21.5	▲14.6
中小企業	11.6	63.7	24.7	▲13.1	10.8	69.4	19.8	▲8.9	14.7	66.5	18.8	▲4.1	25.5	60.9	13.6	11.9	16.9	66.1	16.9	0.0
中堅企業	6.5	73.9	19.6	▲13.0	7.3	78.2	14.5	▲7.3	8.7	71.8	19.4	▲10.7	19.8	70.3	9.9	9.9	13.0	74.0	13.0	0.0

項目	2013年 4～6月				2013年 7～9月				2013年 10～12月				2014年 1～3月				2014年 4～6月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	8.3	62.3	29.3	▲21.0	12.1	65.9	22.1	▲10.0	13.5	59.5	27.0	▲13.5	25.8	59.1	15.1	10.8	17.9	63.6	18.5	▲0.6
	阪神地域	11.9	67.9	20.2	▲8.3	17.5	71.9	10.5	7.0	20.4	64.8	14.8	5.6	14.7	75.0	10.3	4.4	10.6	81.8	7.6	3.0
	播磨地域	10.0	64.7	25.3	▲15.3	7.7	71.7	20.6	▲13.0	12.6	71.5	15.9	▲3.3	19.6	68.4	12.0	7.6	12.1	74.4	13.5	▲1.5
	丹波・但馬地域	6.3	57.1	36.5	▲30.2	12.3	56.1	31.6	▲19.3	8.2	73.8	18.0	▲9.8	19.0	65.1	15.9	3.2	9.5	71.4	19.0	▲9.5
	淡路地域	4.7	57.8	37.5	▲32.8	7.1	51.4	41.4	▲34.3	6.5	64.9	28.6	▲22.1	9.6	67.5	22.9	▲13.3	7.2	63.9	28.9	▲21.7
業種別	製造業	8.1	59.8	32.1	▲24.0	10.0	62.6	27.4	▲17.4	11.0	65.0	24.0	▲13.1	17.9	67.0	15.0	2.9	12.2	71.6	16.2	▲4.1
	建設業	7.6	71.7	20.7	▲13.0	15.7	63.0	21.3	▲5.5	19.1	65.2	15.6	3.5	26.7	60.0	13.3	13.3	20.7	65.9	13.3	7.4
	卸売業	9.8	56.1	34.1	▲24.4	6.7	71.3	22.0	▲15.2	14.2	65.2	20.6	▲6.4	18.2	68.6	13.2	5.0	8.2	67.1	24.7	▲16.5
	小売業	3.3	66.7	30.0	▲26.7	6.8	64.4	28.8	▲22.0	7.3	67.3	25.5	▲18.2	20.7	55.2	24.1	▲3.4	5.2	63.8	31.0	▲25.9
	不動産業	16.7	75.0	8.3	8.3	20.8	71.7	7.5	13.2	16.9	67.8	15.3	1.7	25.5	65.5	9.1	16.4	14.8	77.8	7.4	7.4
	運輸業	5.1	69.2	25.6	▲20.5	10.8	75.7	13.5	▲2.7	13.3	64.4	22.2	▲8.9	25.0	63.9	11.1	13.9	22.2	63.9	13.9	8.3
	飲食業	21.4	71.4	7.1	14.3	8.3	50.0	41.7	▲33.3	16.7	41.7	41.7	▲25.0	36.4	45.5	18.2	18.2	30.0	60.0	10.0	20.0
	医療・保健衛生	0.0	86.7	13.3	▲13.3	4.3	82.6	13.0	▲8.7	4.2	79.2	16.7	▲12.5	3.7	81.5	14.8	▲11.1	7.4	81.5	11.1	▲3.7
	サービス業	12.9	55.9	31.2	▲18.3	9.7	68.8	21.5	▲11.8	3.9	71.4	24.7	▲20.8	20.2	64.3	15.5	4.8	16.7	69.0	14.3	2.4
	その他	7.7	69.2	23.1	▲15.4	4.3	73.9	21.7	▲17.4	13.2	67.9	18.9	▲5.7	25.7	62.9	11.4	14.3	14.3	77.1	8.6	5.7

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2013年 4～6月				2013年 7～9月				2013年 10～12月				2014年 1～3月				2014年 4～6月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	21.4	50.7	28.0	▲6.6	23.8	52.4	23.7	0.1	27.7	50.7	21.7	6.0	33.3	50.7	16.0	17.3	24.2	59.6	16.2	8.0
経常利益判断	19.6	53.5	26.8	▲7.2	18.3	57.0	24.8	▲6.5	21.5	55.9	22.6	▲1.1	26.1	55.8	18.0	8.1	18.9	64.5	16.7	2.2
在庫判断	3.3	89.5	7.2	▲3.9	3.8	89.5	6.7	▲2.9	3.4	91.1	5.4	▲2.0	5.0	90.3	4.7	0.2	3.9	92.7	3.3	0.6
資金繰り判断	9.2	79.6	11.2	▲2.0	8.5	81.6	9.9	▲1.4	9.8	82.4	7.8	2.0	10.1	81.8	8.1	2.0	8.0	83.8	8.2	▲0.2
雇用判断	7.2	87.0	5.8	1.4	10.1	85.4	4.4	5.7	13.7	82.9	3.5	10.2	16.0	81.2	2.8	13.2	14.5	82.3	3.2	11.3